

第118号 2026年10月1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に 希望をもって医療と福祉に献身します



復生病院の始まりの精神を受けて

神山復生病院

事務局長 保久 要

今年の6月から神山復生病院に理事としてかかわることになりました横浜教区司祭の保久（やすひさ）要（かなめ）と申します。現在は鎌倉の雪ノ下教会というところにおりますが、数年前までは横浜の山手にあります教区本部で、いろいろ事務的な仕事をしておりました。引退した司祭のお世話も仕事の一つで、神山復生病院には本当にお世話になり、心から感謝申し上げます。

わたしの神山とのかかわりは神学生時代までさかのぼりますので、30年以上ということになります。この「かえでの森」の前号（117号）に今年6月の神学生訪問の記事が載っていましたが、わたしの神学生時代は春と秋の2回おこなわれ、在院者の方々の部屋を回ってお話を伺い、夜の宴会やゴルフ大会なども開かれていました。先日職員会議の時にふと前を見ると、復生病院歌が掲げられているのが目に留まりました。なつかしい！この歌は必ず訪問時に神学生全員で合唱するもので、訪問の1カ月前から、神学校の典礼聖歌の先生にみっちりしごかれまして。ただ冒頭の「高く尊き・・・」以降は何部かに分かれるため、アルトパートだった私は、主旋律が思い出せないのが悲しいのですが…。

新理事長のゴーチェ神父様とのかかわりはずっと古くなります。わたしがまだ中高生だった時代に、出身教会（横浜・菊名教会）に新しい主任司祭として赴任してこられました。聖書の勉強、教会学校や中高生キャンプなどの活動に加え、手製のフランス料理をごちそうになったり、楽しい思い出ばかりです。そんな神父様が理事長になれるなら、喜んでお手伝いしましょう、ということで今があるわけです。

神山訪問の折に必ずお部屋によらせていただいた故・外山富士夫さんの「ですの譜」をあらためて思い出しています。

善いと判断したらやってみるんです／生きている証拠にです

失敗したら失敗を踏み台にするんです／次のチャンスを見つけるんです

いま生きているわたしたちは、生きているあかしに、善いと思うことをやっていく時だと思えます。多くの先人たちの思いを引き継ぎながら、ともに頑張っていきましょう。

防災対策？



令和 8 年 防災研修



事務部 後藤和也（防災士）

今回の防災研修は当院のBCP（事業継続計画）に加え、9月1日から改正された道路交通法について説明を行いました。改正された道路交通法の内容は「生活道路における制限速度の引き下げ」となります。当院の敷地にある道路は生活道路の内、「敷地道路」となります。敷地内は20キロ制限としていますので、今回の改正によって速度を20キロ以上出していて事故を起こした場合、又は警察の巡回時に明らかな速度超過が確認された場合には、道路交通法の罰則が適用されます（一発免許停止もあり得ます）。生活道路に限らず普段の走行速度を見直す良い機会です。安全運転にご協力ください。

防災研修では改めてBCPについて説明を行いました。BCPとは自然災害や火災、テロ攻撃等を想定して、短期間で事業を復旧・継続する為に事前に計画を準備することです。内容はライフラインの途絶に対してどのような準備をしているのか、御殿場市や他病院との連携等についてお話をしました。

地震に対する耐震や火災予防も勿論ですが、ここ数年では台風や低気圧によって河川氾濫による被害が多くなっています。病院の隣りを流れる黄瀬川も氾濫する時が来るかもしれません。当院では土のう袋や排水溝の掃除等、事前に出来得る準備を進めています。「過去に起こらなかったから、これからは起こらない」は通用しなくなってきました。皆様も防災袋の準備や避難先の確認を忘れずに、ご家族で共有なさってください。



防災訓練 炊き出し訓練

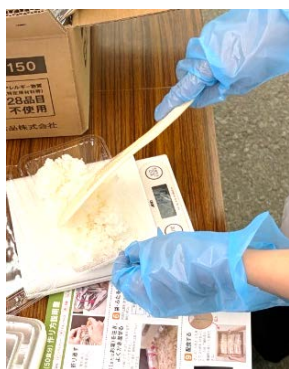


栄養課 鈴木一枝

院内では9月4日に防災訓練が実施されました。栄養課では炊き出し訓練を委託業者と協力して行いました。主に備蓄倉庫の詳細とガスの使用方法を確認し、実際に防災食を作り、職員に配布し、試食して頂きました。

当日のメニューは牛丼、がんもと里芋の煮物（缶詰）、白桃缶（1人2個）となっており、まず水を沸かし、アルファ米炊き出しセット（50食分）の中に8Lの湯をいれ、約30分後にご飯ができ上がり、1人前ずつパック詰めをし、非常用の発泡スチロール容器に保存しました。時間はかかりますが、水でも可能とのことでした。この訓練から調理水の備蓄の重要性を改めて感じました。

現在、飲料水は1日1人あたり1.5L（500mL×3）の計算で3日分の備えがあり、食品は150人分4日分の備蓄があります。国では1週間分の備蓄を推奨しているので、今後も検討が必要です。





神山復生病院 夏祭り



記念館 森下裕子

8月13日に復生病院夏まつりを行いました。在院者さん、入所者さん、入院患者さん、ご家族や職員含め約80名の皆様に参加していただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

毎年恒例のクラフトテープで作った魚の魚釣り、輪投げは入った数に合わせてジュースがもらえ、ひもを引くとモールで作ったお花や熱帯魚があたる千本くじや、今年からもぐらたたきも加わりました。ひょっこり出るもぐらをピコピコハンマーでたたき、あたると風鈴など景品を選ぶことができ、皆さんどれにしようか悩まれていました。その他にもメロンソーダやアイスコーヒー、アイスクリームがふるまわれ、しばし納涼気分を味わうことができました。



今回のおすすめ

『コロナワクチン ヌバキソビット筋注用』



神山復生病院では、コロナワクチンは武田薬品から発売されている「ヌバキソビット筋注用」です。

このワクチンは、今まで多くの方が接種されている mRNA ワクチンとは異なり、組み換えタンパクワクチン(不活化ワクチン)です。ウイルス本体を使用しないため安全性が高いというメリットがあり、mRNA ワクチンに比べ、接種後の発熱や全身倦怠感といった全身性副反応が少ない傾向があるのでおすすめです。過去に副反応がひどくて接種を悩まれている方は、ぜひ当院にご相談ください。

(紹介者 薬局 永井祐佳)

内科外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	佐野順子	吉津紗綾香	江藤秀顕	江藤秀顕	吉津紗綾香	休診	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診

インフルエンザワクチン・コロナワクチンの接種の予約を承っております。

小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家

見学に来ませんか？

歌ったり、独自のゲームで楽しんだり、自然豊かな敷地内と一緒に散策しませんか？
皆さんが楽しめるレクリエーションを計画・実施いたします。まずはお気軽に遊びに来て下さい。
また、介護保険について・介護相談・高齢者一人暮らし中の不安など、お気軽にご相談ください。
通い・宿泊・訪問介護 随時お受けいたしております。



連絡先

〒412-0033 御殿場市神山 738-44

☎0550-87-3880 FAX0550-87-3887 担当 衛藤



『薬局通信』

薬剤師 永井祐佳

10月になり当院でもインフルエンザワクチン・コロナワクチンの接種が始まっております。
御殿場市では、9月にインフルエンザで学級閉鎖になった学校もあり、例年よりも早い流行開始となっております。流行が本格化する前に早めの接種をご検討下さい。

新型コロナ感染症は、重症化することがあり、生命にかかわる場合があります。2025年65歳以上の死者数は約2万1千人に上りました。これは、同年の新型コロナ感染症による全死亡者数の97.7%を占めており、高齢者では注意が必要です。また、新型コロナ感染症をきっかけに認知機能・感覚機能低下がみられる場合があることが分かってきています。

ご自身・家族の健康を守るため、ワクチン接種についてご検討ください。
なおご希望があればインフルエンザワクチンとコロナワクチンの同時接種も承っております。



編集 後記

今年の夏も厳しい暑さの連続でしたね。年のせいでしょうか...

また自然災害の連続で熊本地震をはじめ千葉豪雨、線状降水帯による被害などが相次いでいます。
院内では栗が実り、柿、銀杏と秋の訪れを感じています。すでにインフルエンザの流行も聞かれています。皆様、体調管理に気をつけてお過ごしください。次号もどうぞお楽しみに！

